

臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。
関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	膵癌早期診断をめざして ～限局性膵萎縮所見に着目した膵上皮内癌診断体系の構築～
研究機関名	静岡県立総合病院
研究責任者	肝胆膵内科 川口真矢
研究期間	倫理委員会承認後（2024年6月6日）～ 2027年3月
試料・情報の利用又は提供を開始する予定日	実施許可日（2024年6月6日）
対象者	2022年10月～2026年3月の期間に当院でCT/MRI検査などで限局性膵萎縮所見を指摘された患者さんを対象にしています。
当該研究の意義・目的	膵癌は5年生存率が7.7%と極めて予後不良な疾患であり予後の改善にはより早期の段階での拾い上げが必要です。近年、膵癌の早期発見(主に膵上皮内癌)の契機となる所見として限局的な膵実質の萎縮(FPPA)が注目され、当院でも2022年10月より放射線診断医と情報共有し、腹部CT/MRIのFPPA所見に着目しました。 今回、放射線診断科が、CT/MRIでFPPA所見をもつ患者さんを拾い上げ、消化器内科が精査をすることにより、その後の外科手術や病理診断が膵癌の早期発見に有効かつ効率的であったか、またこのストラテジー(チーム医療)についても検証します。
方法および研究で利用する試料・情報について	対象となる患者さんの診療録(カルテ)から次の情報を調査します。 ・患者背景(年齢、性別、既往歴、嗜好歴、家族歴) ・臨床データ(血液検査・画像検査、術式、病理検査、臨床経過など)
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
問合せ先	◆その他、この研究に関するお問合わせ、ご意見等ございましたら下記へご連絡ください。 静岡県立総合病院 肝胆膵内科 川口真矢 代表 054-247-6111